

# 新生会看護部通信

2011.1.1発行 第29号



## 新年のごあいさつ

【新生会第一病院 岡山ミサ子】

新年、お喜び申し上げます。さて、「看護の醍醐味」を掲げ4年が経過しました。看護研究・事例検討・プロジェクト・現任教育、日々の実践など、看護を深く学び、味わう、そんな組織風土になり感慨深いものがあります。

2011年度のキーワードは引き続き「看護の醍醐味」を挙げました。そして、「いのちのケア」「キャリア支援」です。2011年も皆さんと一緒に充実した1年になりますように、宜しくお願いします。

「いのちのケア」：患者と自分のいのちを輝かせる、安全に遵守していのちを守ることです。

「キャリア支援」：看護師一人ひとりが生涯を通して人生をどう生きていくのかを一緒に考え、支援していくことです。

## 「キャリア支援」のためのクリニカルラダーに変化！

新生会第一病院 岡山ミサ子

いよいよ2011年度からは「キャリア支援」のためにクリニカルラダーへと変化する年です。下記のように運用をします。

クリニカルラダーは2004年にスタートしました。管理者ワーキング会では、“スタッフ一人ひとりが成長・成熟するために支援する”という視点で、ここ数年で試行錯誤の中、次のように、検討を重ねてきました。年に一回看護師のラダー評価を実施しています。また、個人目標にクリニカルラダーをつなぐための用紙を見直し、そしてラダーと教育をつなぐために現任教育委員会がラダーに合わせた新人・継続教育の充実を図り、e-ラーニングプロジェクトが自己学習用ツールを作成しました。看護実践の記述においては、看護ナラティブプロジェクトで、看護実践をナラティブに記述できるよう育成しました。このように遠回りのようですが、皆様のお蔭で準備が整いました。

### 【クリニカルラダーの新たな運用】

- ①クリニカルラダーの運用マニュアルを整備しました。
- ②「私の目標」ファイルがキャリア支援に関連する名前に新しく変わります。(募集中)
- ③クリニカルラダー教育一覧表を作成しましたので配布します。
- ④e-ラーニング活用チェック表を作成しましたので配布します。
- ⑤評価には、上司以外の第三者(同僚・評価委員)が参加します。
- ⑥ラダーレベルⅢ以上の看護実践は、ナラティブに記述することになります。
- ⑦レベル認定後のキャリアアップは、自主的に申請して評価を受けることになります。
- ⑧「ラダーレベル認定証」は常勤の全看護師が手にすることができます。
- ⑨「ラダーレベル認定証」は看護部長から手渡しされます。(レベルⅣ以上)

(管理者ワーキング会 内田・千葉)



# 看護安全シリーズVIII



## ★感染ラウンドとチェックリスト★

【新生会第一病院 感染対策委員 佐々木しのぶ】

新生会の感染対策委員会では、感染防止活動をリアルタイムに行動できるよう、2007年9月にICT（感染制御チーム）を組織しました。構成メンバーは医師・看護師・薬剤師からなります。発足当時は年2回のICTニュースを発行し、2009年9月から浄化センター・病棟のICTラウンドを開始しました。

ICTラウンドの目的：施設独自のマニュアルやチェックリストを作成し、ラウンドすることで、現場にあった予防策を推進でき、ラウンドメンバーの感染対策意識、知識の向上が期待できる

A.	診療区域、環境	yes	no	評価不能
1	室内は清潔で整理整頓されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	滅菌した物品や清潔な物品が床に置かれていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	回診車は清潔で整理整頓されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	薬品用の冷蔵庫内は温度管理されており、清潔で整理整頓されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	冷暖房設備、空調設備が定期的に清掃されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ベッドの枠、マットレスが汚れていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	床は清掃が行き届いていて、汚れや埃がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	カーテンは定期的にクリーニングされ、カーテンレールの上に埃がたまっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	網戸、窓が汚れていない。ブラインド、窓枠に埃がたまっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	照明器具、テレビに埃がついていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	手の衛生			
11	スタッフが透析操作前後に手洗いが容易にできる十分な手洗い設備・乾式アルコールの設置がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	職員用の手洗いにはペーパータオルが用意されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	指導的立場のスタッフが正しい方法で手洗いを行うことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	正しい手洗いの方法を示したポスターが各部署で少なくとも一ヶ所の手洗い場に貼ってある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	消毒薬、液体石鹸液の継ぎ足しが行われていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	透析医療機器・器具の取り扱い			
16	透析に使用する医療器具は患者毎に滅菌したものか、ディスポーザブル製品を使っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	透析装置の保守点検はマニュアルにのっとり、定期的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	回路圧測定系にディスポーザブルのトランスジューサープロテクターを挿入している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	吸引器は清潔で乾燥した状態で保管されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20	酸素吸入に用いる器具は埃がついておらず、いつでも使用できる状態である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	点滴スタンドは清潔で、さびていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22	汚染された器材、物品を中材に返却する手順が守られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23	器具の消毒は洗浄した後、決められた濃度と時間で行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D.	透析操作			
24	透析開始・終了操作は清潔不潔概念をよく理解した医師・臨床工学士・看護師・准看護師など有資格スタッフがやっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25	スタッフは侵襲的手技の前後に入念な手洗いを必ず行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26	穿刺および抜針操作をするスタッフはディスポーザブルの手袋を装着している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27	透析開始・終了操作は患者側と機械側にそれぞれ1名ずつが共同して行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28	肝炎ウイルス陽性の患者は透析室内の一定の位置に固定して透析されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29	血液に汚染された物品は周囲を汚染しないように注意して感染性廃棄物として廃棄するか、マニュアルにのっとり、洗浄滅菌されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30	透析中に投与される抗凝固薬やエリスリポエチンなどの薬剤は、透析室から区画された場所で無菌的に準備されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
31	ヘパリンはプレフィルドシリンジ製品を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E.	汚物処理室			
32	流し、汚物槽は清潔で飛びはねがなく、床が濡れていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33	便器、尿器、ポータルトイレは洗浄・消毒し、乾燥した状態で保管されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34	モップ、バケツの管理が行き届いている（清潔で乾燥しており、定期的に交換されている）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35	消毒薬などの開封日が記載され、物品が清潔に整理整頓されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F.	廃棄物の処理			
36	院内の廃棄物の処理基準・分類が職員に指示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37	感染性廃棄物、一般ゴミが正しく分別されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38	針捨てボックスが処置用ワゴンなど必要箇所に設置されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39	針捨てボックスから鋭利物が飛び出していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40	リキャップの危険性を警告するポスターが貼られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41	事故が起こった後のフォローアップ体制がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G.	リネン			
42	清潔なリネンは清潔域（決められた所）に保管されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43	汚染されたリネンは、直ちにビニール袋等に入れられ、床に直接置かない、直接抱えない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
H.	院内感染対策			
1	スタンダードプリコーション			
44	防護具（手袋・マスク・ガウン・ゴーグル等）が必要に応じてすぐに利用できるように整備されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45	体液や分泌物に触れるような場合には手袋が用いられ、処置ごとに交換されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
46	患者の生体物質などで衣類が汚染される可能性がある場合には、ガウンやプラスチックエプロンを使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47	顔面や目に体液の飛沫が付着する可能性がある場合には、マスク・ゴーグルを使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
48	防護具をはずした後は手洗いを行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
49	感染症にたいする患者監視（サーベイランス）として、定期的な検査を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
50	定期検査の結果は患者に告知され説明指導が行われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
51	患者にはB型肝炎、インフルエンザ等に対するワクチン接種の機会が提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	スタッフ			
52	スタッフに対して感染対策に関する教育が定期的に行われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
53	スタッフには定期健康診断が行われ、HBワクチン接種の機会がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I.	書類／届出			
54	院内感染防止対策マニュアルが置かれている場所をスタッフが分かっている（2人のスタッフに質問）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
55	院内感染防止対策マニュアルは最新版である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
56	感染症法に該当する疾患の取り扱いに関してスタッフが理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
57	院内感染発生報告書の用紙が置かれている場所をスタッフが知っており、表示されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
58	抗MRSA薬等の届出を要する薬剤の使用が正しく行われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
59	薬剤耐性菌の発生報告が確実に行われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
60	自院の病院感染に関する情報を分析・評価している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計

スコア＝yesの数÷質問項目数×100

%

★90%以上目指してチェックしましょう

2010年10月17日(日)、第3回新生会看護研究会が行なわれました。

新生会看護部及び来賓の方々を含み152名の御参加をいただくことができました。この看護研究会を通して、私は2つの絆を感じています。まず、一つは会の運営に携わって頂いた方達の絆です。この研究会は、まさに自分たちで作りあげるものであり、企画・運営は各施設のたくさんの方々の方々の力の結集です。一人ひとりの絆なくしてはできないものです。次に2つめとして、各施設が取り組まれた研究発表から共に学びあうことでの絆です。回を重ねる毎に絆が深まり、新生会看護部のよりよい看護につながっていくと思います。

発表者からのコメント

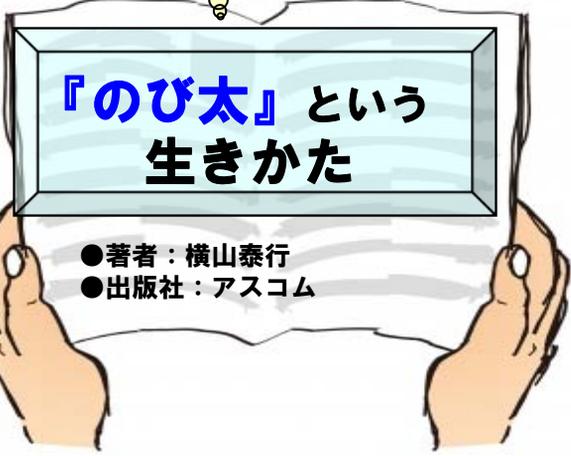
看護実践への向上に向けて私たちが日々努力している結果をここに発表する事ができ、大変だったけれどとても満足しています。(鳴海クリニック 佐藤博子)



「心動かされた本」の紹介 ~PART9~



主任が選んだ今回の1冊!!



- 著者：横山泰行
- 出版社：アスコム

【東海クリニック

主任 宮田江利

漫画「ドラえもん」の、子)び太という男の子は皆が認めるダメな子です。この本はそれでも幾多の困難にひるまずに生き、夢を叶えていったのび太の生き方を説いた本です。

自身の幸せや夢をつかむには、**ポジティブな心(やさしさやあきらめない気持ち)**などの自分自身の要素も大事ですが、弱みを強みに変え、もともとある強みを最大限に引き出すドラえもんのような存在や道具のようなアプローチがあったほうが良いということです。私の存在や言葉が、私の周りにいる人たち(家族や友達、同僚や患者さん)にとって、のび太でいうドラえもんのような存在や道具であって欲しいとこの本を読んで願った今日この頃です。是非読んで見てください。



いきいきナース

鳴海クリニックの宮島恵さんを紹介します。宮島さんはとっても料理が上手でおいしく、いつも手料理を振舞ってくれます。

そんな数多くあるレシピの中で、スタッフ皆から好評のもちピザを教えてくださいました。(鳴海クリニック 神谷)

~レシピ~

もちピザ



材料

- 切りもち 8枚~10枚 チーズ(ピザ用)200~300g
- ピザ用ソース(なければトマトとオリーブオイル混ぜる)
- ミニトマト10~12個 ピーマン2個 ベーコン2~3枚
- シーチキン(S)1缶 A(醤油大1 砂糖大1) サラダ油適量

調理方法

- 1、フライパンにサラダ油を薄くひく。
- 2、もちをフライパンに並べて円形にする。
- 3、片面を弱火で7~8分焼き、少し膨らんできたら、ひっくりかえす。(もちを皿に受け止めるようにすると、返しやすいですが、皿にもサラダオイルを少し、のぼしてつけておくとはがれやすいです)
- 4、返したもちの表面にピザ用ソースを塗り、ベーコン、シーチキン、ピーマン トマトの順にのせてピザ用チーズを多めにトッピングする。(具材はお好みで)
- 5、ふたをして、チーズがとけるまで、蒸し焼きにする。



もちピザできあがり!

お正月に残った餅の消費をどうしようか悩んでいる方!  
 作ってみてネ!おいしいですよ!

